

人間力創成教育院シンポジウム

第3回

中部大学のフィールド科学

愛知、中央アジア、西アジア、ヨーロッパ、アフリカ

Field Science at Chubu University 3

Aichi (Japan), Central Asia, Western Asia, Europe, and Africa

2025年

1月22日(水)

13:15 (開場12:45)

~ 17:00

申込不要※
参加無料

対面参加の場合は
直接会場に
お越しください

会場:

中部大学 春日井キャンパス
リサーチセンター 大会議室

※ このシンポジウムは、ZOOMを利用したハイブリッド形式で開催します。オンライン参加については申込が必要です。下部のQRコードからお申込みください。
(申込締切: 2025年1月20日(月) 15:00)

人間力創成教育院には、国内外でフィールドワークを行い国際的に活躍する教員がいます。今回、これらの教員を中心に、フィールドワークを研究・教育の根幹としている本学教員が集合したシンポジウムを開催します。昨年度に引き続き、第3回となる今回も、各教員がフィールドワークで得た最新成果をご披露します。中部大学の学生、ならびに一般の方々にオープンなシンポジウムです。皆様のお越しをお待ちしています。

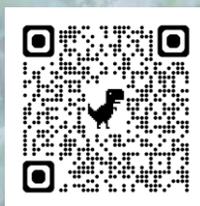
問い合わせ先

中部大学人間力創成教育院事務室

〒487-8501

愛知県春日井市松本町1200 中部大学 20号館 11階

E-mail: gec@office.chubu.ac.jp



中部大学

科研費
KAKENHI

Program

12:45 開場

13:15 開会挨拶 (佐野充 中部大学副学長・人間力創成教育院院長)

13:20 趣旨説明

13:30 渡部展也「渥美半島の縄文時代貝塚の景観と立地分析 その2」(日本・愛知)

13:55 大谷かがり「外国籍住民集住地域で学生とフィールドワークして研究者の役割を探る」(日本・愛知)

14:20 千葉軒士「文献資料調査から見る宣教師の漢字学習方法について」(ヨーロッパ)

14:45-15:00 休憩

15:00 和崎聖日「現代中央アジアのスーフィズム：山岳タジク人社会の病気治療」(中央アジア)

15:30 西山伸一「考古学研究と文化遺産保護事業のはざま:イラク・クルディスタン地域における活動ー2024年」(西アジア)

15:55 大橋岳「リベリアの里山に生息するチンパンジーの生態と保全」(アフリカ)

16:20-16:30 休憩

16:30-16:55 質疑応答・ディスカッション

16:55 閉会挨拶

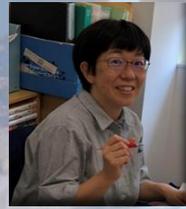
17:00 閉会

Speakers



渡部展也 Nobuya Watanabe

中部大学中部高等学術研究所国際GISセンター教授。慶應義塾大学大学院博士後期課程満期取得退学。博士(政策・メディア)。神奈川県出身。専門は地理情報科学。GIS(地理情報システム)、リモートセンシング、3D計測等の考古学、文化財分野における応用を研究。中国と中東諸国を主なフィールドとして、考古学者とも多くの共同研究を行う。



大谷かがり Kagari Otani

中部大学看護実習センター助教。愛知県立大学大学院国際文化研究科博士後期課程満期取得退学。修士(看護学)。静岡県出身。専門は医療人類学、看護学。2003年から豊田市内のブラジル人集住地域で不就学の子どもやブラジル人学校の子どもの健康相談にのったり、NPOの方々の話をうかがったりして、健康って何だろうと考えている。



千葉軒士 Takashi Chiba

中部大学創造的リベラルアーツセンター准教授。名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。埼玉県出身。専門は日本語学、キリタン語学。2017年以降、イタリア、パチカン、スペイン、ポルトガルなどで文献調査を実施し、16世紀に來日したキリタンがどのように日本語を習得したのか、模索している。



和崎聖日 Seika Wazaki

中部大学人文学部准教授。京都大学大学院人間環境学研究科博士後期課程満期取得退学。博士(人間・環境学)。広島県出身。専門は映像人類学、中央アジア地域研究、イスラーム学。民族誌映画GuliArmug'on: Women's Local Islamic Ritual in Uzbekistan(2018年)では、ウクライナ、セルビア、マケドニア、メキシコ、英国、日本の映画祭で入選。『交霊とイスラーム』(2022年)は東京ドキュメンタリー映画祭2022入選。



西山伸一 Shin'ichi Nishiyama

中部大学人間力創成教育院教授。早稲田大学大学院文学研究科後期課程中退。修士(文学)。香川県出身。専門は西アジア文明史、考古学、文化遺産保護。1994年以来、シリア、トルコ、イラン、エジプト、アフガニスタンなどで考古学と文化遺産保護の活動に関わる。現在は、イラク・クルディスタンとレバノンで考古学調査団を率いるとともに文化遺産保護事業を展開する。



大橋岳 Gaku Ohashi

中部大学人間力創成教育院教養課題教育プログラム(人文・社会リテラシー)准教授。京都大学理学研究科博士後期課程単位取得退学。福岡県出身。専門は霊長類学、人類学。1999年から西アフリカにて野生チンパンジーを対象に研究。ギニアからリベリアへと広範囲に調査地域を展開し、チンパンジーの保全活動にも力をいれている。



会場へのアクセス (中部大学 春日井キャンパス)